

進む連携ネットワーク

Tri-F研究会は、2018年の発足以来、産学官の連携、地域との連携、異分野との連携を推進・強化するための活動を展開しています。今回のニュースレターは、Tri-F研究会が2019年度に行った連携活動をご紹介します。具体的には、トライボロジーと関係の深い異分野の研究会との合同研究会を2回開催した(詳細はpp.2-3)ほか、産学連携活動において関連をもつ東北大学未来科学技術共同研究センター(NICHe)およびSMILEcoの行事に参加しました(p.1、p.3)。また、Tri-F研究会のメンバーと事務局が東北3県の公設試験研究機関を訪問し、研究交流により相互理解を深めました(p.4)。Tri-F研究会は、トライボロジーを核とする、こうした連携をさらに発展させ、地域と企業に貢献していきます。

東北大学NICHe戦略セミナーシリーズ(第5回) 「トライボロジー融合研究と産学連携」

2019年11月13日、東北大学東京分室(千代田区丸の内)において、東北大学未来科学技術共同研究センター(NICHe)主催、Tri-F研究会後援の標記行事が行われました。参加者は、講演とディスカッションを通じて、産学連携のあり方について、理解を深めました。

基調講演

文部科学省における産学連携・地域支援の取組について

文部科学省
科学技術・学術政策局
産業連携・地域振興課 地域支援室長

山之内裕哉氏



①産学官連携、②大学発ベンチャー創出・成長、③地域科学技術イノベーションを支援するための施策の歴史をたどり、大学が①②③において求められる役割を果たす際の課題を明らかにした上で、大学を核としたイノベーション・エコシステムを実現するために行われている現在の取組が紹介されました。

講演 1

トライボロジー先端研究からの産学連携

東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授

栗原和枝氏

Tri-F研究会の活動の紹介がありました。共用機器についての説明もありました。

講演 2

ナノ界面解析が解き明かす潤滑油の作用メカニズム

出光興産株式会社
潤滑油二部潤滑技術一課 チーフエンジニア

田村和志氏



エンジンのピストンのように、固体どうしの摩擦が起こる場面で使われる潤滑油の組成を合理的に設計するには、ナノレベルの物理モデルを明らかにする必要があること、共振ずり測定装置を導入して解析を行うことでそれが可能になり、潤滑油の新しい作用メカニズムを解明できたことが紹介されました。